

令和 8 年度 学校評価書 (計画段階)
福岡県立 明善 高等学校(定)

スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)	社会の一員として自立できる力を育成する夜間定時制高校 自主的・自立的に行動し、幸福な人生を実現する力を育成するとともに、望ましい勤労観・職業観を持ち、自他を認め社会を生き抜く力を育成します。	
スクール・ポリシー (三つの方針)	グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)	○学ぶ意欲を高め、社会生活の基盤となる基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けるとともに、課題解決に必要な思考力・判断力・表現力を育み、主体的に未来を切り拓く力を養う。 ○自己有用感・自己効力感・自己肯定感をバランスよく育成し、自主的・自立的に行動しながら、社会の中で自分らしく生きる力を育む。 ○主体性、協働性、責任感等を基盤とした社会人基礎力と、望ましい勤労観・職業観を育成し、変化の著しい社会をたくましく生き抜く力を養う。 ○自他を認め合い、共に生きる態度を養うとともに、よりよく生きるための基盤となる健やかな心身と道徳性を育成する。
	カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)	○学び直しを含め、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得に重点を置き、生徒一人一人の学習段階に応じた指導を通して、基礎学力の定着と学ぶ意欲の向上を図る。 ○課題解決に必要な思考力・判断力・表現力を育成するため、ICTの効果的活用を含むユニバーサルデザインの視点による授業改善を推進し、多様な学習スタイルに対応した学習評価の充実を図る。 ○実社会とつながる学びを重視し、外部機関・専門家等と連携した特別活動を通して、教科横断的・総合的な学習を推進し、社会的自立に必要な資質・能力を育成する。 ○夜間定時制高校として、多様な年齢や生活背景、学習経験のある生徒の実態を的確に把握し、個別の教育支援・指導を充実させるとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。
	アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)	○社会の一員として自立することを目指し、主体的・意欲的に学校生活に取り組もうとする人 ○基礎・基本から学び直し、学力や教養を身に付けたいと考えている人 ○昼間の生活と夜間の学校生活の両立に努めながら、自己成長を図ろうとする人 ○自身の言動に責任をもとうとするとともに、他者の意見や価値観を尊重し、社会の中で共に生きようとする姿勢を大切にしている人

学校運営計画(4月)

学校運営方針	年度重点目標		評価 (総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標	
○職員間の情報共有を密に行い、共通認識をもって生徒の支援・指導にあたることできた。 ○授業規律の安定を基盤に、学力定着や家庭連携を進め、授業改善の共有を通して、生徒の学びを支援し、学力向上を促す。 ○情報交換会や個別面談、全校集会を基盤に、生徒会活動や訓話を活用して、主体性と徳育を重視した学校生活を推進する。 ○外部機関や専門学校との連携を活かし、進路決定の促進や進路意識の向上を図り、講演会や個別の支援を通して全校の進路意識を高める。 ○個別の教育支援計画の早期作成・活用と情報共有を強化するとともに、保健委員会の活動や講演会を通して健康・命・性の学びを深める。 ○職員研修を通じて生徒理解を深めるとともに、体験活動や図書環境の整備、読書時間の確保を推進し、生徒の心と学びの成長を支える。	基礎的・基本的な学力の定着と課題解決能力の育成	本校教育課程に定められている授業時間及び時数を確保し、ICTやユニバーサルデザインを活用した授業や学び直しを通して計画的な指導を行うことで、基礎・基本の知識・技能を確実に身に付け、課題解決力を育成する。	
	自己肯定感と社会的自立の促進	特別支援教育の視点を踏まえた個別支援やキャリア教育を通して、生徒一人一人の自己肯定感を高め、社会の中で自立して行動できる力を育成する。	
	望ましい勤労観・職業観と社会人基礎力の育成	学校行事やキャリア教育、外部機関との連携を通して、社会人基礎力を養い、働く意義や職業観を理解して将来に活かす力を育成する。	
	自他を認め共生する力の育成	特別支援教育の推進や協働学習、インクルーシブ教育を通して、多様性を理解し他者を尊重しながら共に課題を解決する力を育成する。	
	心身の健康と道徳性の育成	心身の健康を支える生活習慣指導や道徳教育を通して、健全な生活基盤と道徳的思考・行動の力を養う。	

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務部	学習意欲の喚起と学力保障	個に応じたきめ細かな指導を行う	学校評価保護者アンケート	
		「わかる授業」を基本とした達成感を感じられる授業を展開する		
	授業規律を確立する			
学校不適応の未然防止	遅刻・欠席等の連絡を徹底する	担任・保護者との連携を図り、信頼関係を構築する	授業アンケート	
		関係機関と情報を共有し、支援策を講ずる		
		情報交換会の充実を図る。		
生徒指導部	基本的生活の確立	生徒会の活性化を図る。	長期休業中の心得 保護者宛アンケート	
		個別面談の充実を図る。		
		問題行動の未然防止		
外部講演会などの補講の実施				
規範意識のための全校集会の実施				
進路指導部	適切な進路選択ができる環境の構築	校外の関係機関と連携してキャリア教育を行う。	保護者向け進路アンケート	
		個人面談等を通して学校や職場での生徒の状況を把握する。		
		ハローワークとの連携を強化し求人を開拓する。		
自己肯定感の高揚と進路意識の向上	進路別説明会等を通して、早期の目標設定に向けた行動につなげる。	就労体験を通して望ましい勤労観を育成するため、アルバイトを奨励する。	進路講演会アンケート	
		各種検定・資格の取得を奨励するとともに指導を充実する。		
		個別の教育支援計画を5月までに作成し、将来の自立を目指した支援体制を強化する		
校内外の支援機関と連携し、生徒や保護者が安心して相談できる体制を整備する				
生徒の健康状態や生活状況を把握し、必要な支援につなげる				
保健部	主体的に健康や命、食、環境美化の学びを深める取組の強化	保健委員会の活性化を図る	講演会事後アンケート	
		給食を食育における「生きた教材」として位置づける		
		外部講師による講演会を実施する		
庶務研修部	教職員の資質と教育相談能力の向上、および授業改善を図るための職員研修の実施	生徒の実態に照らし合わせながら、随時必要な職員研修を実施する。	職員アンケート	
		現在の社会におけるさまざまな教育課題について学ぶ研修を実施する。		
		職員間で生徒情報を交換、共有し、課題解決に向けて授業改善を図る。		
豊かな感性の涵養に資する事業の企画、読書活動の推進、儀式的行事の立案	芸術鑑賞、ものづくり、文化的行事などの生徒体験活動を精選し、企画する。	図書室の環境整備と読書活動の活性化を推進する。	体験活動事後アンケート	
		儀式的行事の立案、進行および職員「親和会」の連絡調整を行う。		
		生徒・保護者のニーズに応えるため、より効果的な予算の編成・執行を行う。		
各分掌と情報の共有化を図り、学校経営目標が実現するための事務処理を行う。				
生徒・保護者に対して、より分かりやすい内容で的確に情報発信する。				